

再生可能エネルギー導入の推進状況について

再生可能エネルギー導入の推進については、「再生可能エネルギー及び省エネルギーの推進に関する基本計画」(H27年9月策定)に基づき、取り組んでいるところです。

計画の目標に対し、平成29年度の導入実績を踏まえた状況は、次のとおりです。

1. 主な目標と実績

(1) 発電量割合

項 目	H 2 7 年度末	H 2 8 年度末	H 2 9 年度末	H 3 1 年度末 目 標
再生可能エネルギー年間発電量 A	13.1億kWh	14.6億kWh	15.1億kWh	15.6億kWh
県内電力消費量 B	51.4億kWh	52.8億kWh	54.6億kWh	51.4億kWh
県内電力消費量に対する再エネの発電量割合 A/B	25.5%	27.5%	27.6%	30.4%

再生可能エネルギー年間発電量 A：導入された太陽光、陸上風力、大中小水力、バイオマスの各発電設備の出力をベースに設備稼働率等から算出した推計値

※県内発電量の算出根拠となる発電設備の出力は、国の公表数値を使用(H29年4月～H30年3月分)

県内電力消費量 B：資源エネルギー庁が公表している島根県内の電力需要実績(H29年4月～H30年3月分)

〔H29年度の成果〕

・県内電力消費力量が増加したため、県内電力消費量に占める再生可能エネルギー発電量の割合は0.1ポイントの微増となった。

(2) 発電設備の出力等

項 目	H 2 7 年度末	H 2 8 年度末	H 2 9 年度末	H 3 1 年度末 目 標
太陽光発電(住宅用・10kW未満)	57,593kW	61,664kW	64,818kW	83,000kW程度
太陽光発電(メガソーラー等・10kW以上)	153,754kW	200,323kW	238,346kW	170,000kW程度
陸上風力発電	128,254kW	176,684kW	178,295kW	240,000kW程度
小水力発電(1,000kW以下)	7,335kW	7,335kW	7,335kW	7,853kW程度
木質バイオマス発電	18,950kW	18,950kW	18,950kW	18,950kW程度
太陽熱ソーラーシステム(※)	0.5TJ	0.8TJ	1.2TJ	6TJ/年程度 (一般的な家庭の給湯 500世帯分に相当)

※県が補助した件数から算出。

〔H29年度の成果〕

- ・太陽光発電
メガソーラー等の稼働により、10kW以上の設備が38,023kW増加した。
- ・太陽熱ソーラーシステム
県・市町村の助成制度により、住宅30戸において、ソーラーシステムが導入された。

2. 個別施策の目標と実績

区 分	項 目	H28年度末	H29年度末 実 績	H31年度末 目 標
小水力	地域振興や農業振興のためのマイクロ水力発電の設置箇所数	0か所 (実証実験中)	0か所 (実証実験中)	50か所
木質バイオマス発電	木質バイオマス発電に関連する雇用者数	100人	105人	100人
太陽光発電	再生可能エネルギーの導入に取り組む自治会数等	12団体	20団体	102団体
太陽熱利用	医療・福祉施設等の給湯への太陽熱ソーラーシステム等の導入助成数	7か所	8か所	6か所以上
地熱・地中熱利用	公共施設等の冷暖房への地熱・地中熱ヒートポンプ等の導入助成数	1か所	1か所	6か所以上
木質バイオ熱利用	公共施設、温浴施設における木質バイオマスボイラー導入か所数	19か所	23か所	21か所以上
水素の利活用	エネファームの設置台数	189台	219台	185台以上
非常時のエネルギーの確保	避難所等への太陽光発電、蓄電池の設置か所数	37か所	37か所	25か所
普及啓発	「再エネ教室」を開催した県内の小中学校数	70校	108校	160校

〔H29年度の成果〕

- ・木質バイオマス発電
県内の林業事業体等において、5名の雇用増となった。
- ・太陽光発電
8団体において、太陽光発電設備が導入され、発電された電力や売電収入が自治会活動や地域のイベントへの支援など地域の活性化や地域貢献に活用された。
そのうち、自治会としては初めて、2団体で太陽光発電が導入された。
- ・太陽熱利用
1か所の介護施設（グループホーム）において、太陽熱ソーラーシステムが導入された。
- ・木質バイオマス熱利用
市町村営の公共施設に、木質バイオマスボイラーが4か所導入された。
- ・水素の利活用
将来中心的なエネルギーとして期待される水素の利活用として、県の助成制度により、30戸でエネファーム(家庭用燃料電池)が導入された。
- ・普及啓発
小・中学校において「再エネ教室」を開催し、約950名の児童生徒（14市町の31小中学校）が再生可能エネルギーの意義や仕組みなどに関する知識を深めた。
また、7児童クラブ（約200名）でも実施し、低学年の児童への啓発にも努めた。